

地域説明会の申込時にいただいた質問等への回答（全中学校区）

申込時質問事項	回答
この計画が予定通り進むことを心より期待と応援しています。	教育委員会では、この計画がスケジュールに沿って行われるように取り組みます。
適正人数があやふやです。一番いいのは何人と考えてますか？	今回の再編については、適正規模（学級数）という観点で考えています。1クラスの人数については、法令上で定められている人数になります。
教育に必要なもの、いろいろ書かれています、質問集などに、中でも一番大事なものは何と考えていますか？	児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し、児童・生徒一人ひとりが資質、能力を伸ばしていくことができる環境を整えることを一番大切にしています。
小学低学年の子が、この暑さの中、或は寒さの中、3キロ歩くようになることなど、シミュレーションしましたか？	小学校の徒歩通学3kmについては、これまでの地域説明会でも多くの保護者の方から様々なご意見をいただいていますので、再検討を考えています。（計画（案）にて、小学校の徒歩通学については3kmから2kmになりました。）
バス利用する生徒のバス料金は市が出すのか家庭の負担になるのか	学校までの通学距離が小学校は3km以上、中学校は6km以上については、通学バスに係る費用負担は求めないことにしています。なお、指定学校を変更した場合などで、公共交通機関を利用した場合の料金についてはこれまで通り保護者の負担となります。（計画（案）にて、小学校の徒歩通学については3kmから2kmになりました。）
丁寧に議論を重ねた上で出された答申から、素案はかなり変更されているように思いました。これでは、結論がはじめから決まっていたかのようで、とても残念でなりません。答申から地域説明会を繰り返す行い合意形成をはかっていく。その上で、素案を出すのがより良いやり方だと思いますが、その丁寧な道のりが出来ない理由は何故ですか。	計画（素案）は、検討委員会の答申を受けて、教育委員会の方針として作成していますが、答申の柱となる部分「玉野市が目指す学校規模」、小学校は1学年2学級以上、中学校は1学年3学級以上、適正配置などを踏まえて、具体的にまとめたものです。今回の学校規模の適正化は、令和3年度から検討しており、検討委員会の回数を増やしたり、地域説明会を開催したりするために、当初のスケジュールを既に1年延長していますが、もっと早く進めてほしいといった声もある中で、可能な限りの取り組みを行いながら、来年3月の計画策定に向けて進めているところです。
学校の主人公である子どもの声をもっと聴くことが重要だと思います。そうした取り組みがないままの「統廃合」はあまりに強引です。その点はどうか教えてください。	今後、学校に通う子ども達の意見を聞くための機会を設けることを考えています。（11月に小学3年生～6年生の児童を対象にアンケートを実施しました。）
広報たまの9月号に記載されている内容によると、「新たな時代に求められる教育」および「子どもたちに求められる力」への対応をするために適正な教育環境の整備を進めるために学校再編（統廃合）を行うとのことですが、学校を統廃合すること「新たな時代に求められる教育」「子どもたちに求められる力」に対応することがどう結びつくのが理解できません。子どもの人数が減るから学校の数と教育予算を減らしたいという理屈は分かりますが、それは行政側の都合の話であり、学校を減らすことがどのように「新たな時代に求められる教育」「子どもたちに求められる力」に対応することにつながるかについての具体的な説明がありません。むしろ学校を減らすことは子どもたちの選択肢を狭めることであり、「新たな時代に求められる教育」「子どもたちに求められる力」に対応することに関しては逆効果で、理念とやろうとしていることが矛盾しているように見えます。例えば現状では宇野小に通っている子供が小学校に馴染めずに不登校になった場合、少人数学級の築港小に編入するなどの選択肢や逃げ道がありますが、現在提案されている統廃合が実現すると、そうした選択肢や、子どもたちの進路の選択肢が減ることになります。また、30～50人のクラスを1人の教員が担当する管理教育に重点を置いたシステムでは、子どもを管理するだけで手一杯で子ども一人ひとりの主体性まで尊重できないという弊害があり、1クラスあたりの適正人数の見直しの必要性や少人数学級の再評価が教育現場で進んでいるはずですが、そうしたこともふまえた上で検討が行われたのでしょうか？	令和の日本型学校教育では、個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実が求められています。子どもたちが対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝え、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりをもって多様な人々と協働したりしていくためには、ある程度の集団規模が必要です。また、これからの時代を生きていく子どもたちに必要な、社会性やコミュニケーション能力は、多くの友達、つまり多様な他者と日常的に関わり合うことで身に付くものと考えます。現在学校では教室に入りづらくなった子どもの、教室以外の居場所作りに取り組んでおり、一人一人の状況に応じたきめ細かい支援に努めているところです。1クラスあたりの人数については、法律によって定められた人数であり、小学校35人以下・中学校40人以下で編成することとなっています。
統廃合による子どもたちへの悪影響（進路や通学の問題等）や、統廃合によるリスク（転入者の減少・住民の流出による少子化の更なる加速等）など、統廃合には大きな問題もつきまわりますが、そうした問題に関してどのような検討や議論が行われた上で統廃合を進めることになったのかが分かる資料や議事録も公開して欲しいです。そして、統廃合という手段が適正な教育環境の実現にそぐわない場合、統廃合の撤回や再検討が行われる可能性があるのかどうかもはっきりと示していただきたいです。	令和4年度、令和5年度に開催された学校適正規模・適正配置検討委員会で検討してまとめた答申をもとに策定しており、その中で、通学の問題など様々なことについて協議しています。検討委員会の資料や議事録など、小中学校の適正規模・適正配置計画に関する資料については、市ホームページにて公開していますので、ご覧ください。

地域説明会の申込時にいただいた質問等への回答（全中学校区）

申込時質問事項	回答
<p>なにをもって子供、保護者、地域住民との合意形成ができたか判断するのか具体的に教えてください。</p>	<p>明確な合意の判断基準はありませんが、学校の再編は、住民投票のような方法で決めるようなものではないと思っています。現在、児童生徒の保護者や地域の方、PTA等から直接、電話やメール、地域説明会、あと文書等で、多くの質問や意見をいただいております。その都度、できる限り回答しています。</p> <p>また、全体に周知した方が良い情報についてはQ & Aの形にまとめて、ホームページに掲載したり、保護者に直接配布したりしています。</p> <p>こうした取り組みを重ねながら、学校の再編に向けた教育委員会の考えや、保護者等の不安や疑問を解消しながら、計画についての理解を深めていきたいと考えております。</p> <p>計画の策定後も、学校再編までには2年から3年程度の準備期間がありますので、保護者や地域の方に説明を行いながら、保護者や地域、学校、教育委員会等で組織する再編準備委員会において、皆で話し合い、相互理解を図りながら、新しい学校の形を一緒につくっていくことにしています。</p>
<p>近くに小学校・中学校がなくなる地域には、今後子育て世代が住まなく（住めなく）なり、子どもの医療費無償化などの対策をやっても、ますます人口が減って行ってしまうと思います。統廃合は教育の話だけにとどまらず、まちづくりの問題でもあり、もっと多くの人に関わり、広く深く議論をしていく必要があり、結論を出すのは時期尚早だと思うのですが…。</p>	<p>教育委員会では、「玉野市の子どもたちにとって、より良い教育環境とするために、学校はどうあるべきか」という教育的な視点を第一に考えて、学校規模と学校配置を考慮して計画（素案）を策定しています。</p> <p>市では、子育て政策や移住対策などの事業に取り組み、市民と共に子育て世代が住みやすい、暮らしやすいまちづくりを進めていくことにしています。</p>
<p>八浜中学校と荘内中学校の合併ですが、バス通学者がとても多いと感じます。片道15分とのことですが、どのようなパターンで運行されるのかでかかる時間は変わると思います。例えば八浜中学校から何便、見石のどこから何便…と直通を何便かに分けていくのか、それとも見石から順に寄り道しながら行くのか。そのあたりはまだ決まっていないのでしょうか。</p>	<p>大崎小学校以東に住む地域の生徒が遠距離バス通学になる想定ですが、スクールバスは行き1便、帰り2便走らせることを考えています。</p> <p>また、八浜地区から荘内中学校までの通学バスの運行経路としては、見石から八浜（大崎）を経由して荘内中まで通うコースを現時点では想定しています。</p>
<p>バス通学者がとても多いこと、荘内中学校の改修も必要とのことから、大崎小学校の跡地を合併後の中学校にするのは大掛かりすぎでしょうか。</p>	<p>荘内中学校と八浜中学校の中間地点辺りに、新しい学校を建設できれば良いのですが、市所有の土地も無く、建設にも多額の費用がかかります。大崎小学校の跡地にしても、多額の建設費が必要となることから、荘内中学校の改修を考えているところです。（計画（案）にて、再編時期が変更となったため、生徒数が増えることに伴う荘内中の改修は必要なくなりました。）</p>